

平成25年基金シート (農林水産省)

基金名	蚕糸・絹業提携支援緊急対策基金	担当部局	生産局農産部		作成責任者			
法人名	(財) 大日本蚕糸会	担当課室	地域作物課		地域作物課長	森 健		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		関係する計画、 通知等	蚕糸・絹業提携支援緊急対 策事業実施要領	関係する行政事 業レビューシー ト				
事業概要 (5行程度。別 添可)	(1) <input checked="" type="checkbox"/> 取り崩し型 <input type="checkbox"/> 回転型 <input type="checkbox"/> 保有型 <input type="checkbox"/> 運用型 <input type="checkbox"/> その他 (2) <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> 債務保証 <input type="checkbox"/> 利子助成、補給 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 補てん <input type="checkbox"/> 出資 <input type="checkbox"/> その他 養蚕業及び製糸業(川上)と絹織物業、生糸流通業、小売業(川下)の連携を推進し、川上・川下の提携グループによる国産繭・生糸の希少性を活かした高品質な純国産生絹製品づくりを通じて蚕糸業の再生と持続的な発展を図る。 ①蚕糸・絹業の提携グループの形成に向けた支援(業界事情に精通したコーディネーターによる提携システム形成の支援、稚蚕・養蚕資材の安定供給、純国産絹マークの普及促進等) ②蚕糸・絹業提携システム確立のための支援(提携グループの各事業者が行う品質向上やブランド化のための取組に必要な初度の経費の支援等)							
基金への国庫から の支出の経緯 ①	基金設置年度	平成19年度	当初/補正 (会計区分)	補正第1号 (一般会計)	国費額 (単位:百万円)	3,504		
終了予定時期	平成25年度末に事業終了予定。基金は平成26年度以降に廃止予定。							
収入・事業費等 (単位:百万円) ※ラウンドのため 計と内訳が一致し ない場合がある。	収入	国費	22年度	23年度	24年度	25年度見込み		
		国費を原資とした 収入(運用収入)	8		5	2	1	
		国費以外						
		出資等						
		運用収入						
	前年度繰り越し	1,936		1,322	841	495		
	(マイナス)返納額							
	合計(a)	1,944		1,328	844	495		
	事業費等	提携システム構築 コーディネート事業	12		8	6	11	
		提携システム構築 バックアップ事業	37		25	46	127	
助成金交付等		573		453	297	333		
管理費		0		0	0	0		
合計(b)		622		486	349	471		
基金残高 (a-b)	1,322		841	495	24			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標(目標年度)		単位	22年度	23年度	24年度	25年度見込	目標年度見込み
	川上・川下の各事業者(川上は全ての養蚕農家)が平成22年度末までに提携グループに移行(全56グループ)。このうち、蚕糸・絹業提携システム確立対策として助成を行った提携グループ数。	活動実績 (当初見込み)	助成対象提携グループ	10 (-)	52 (-)	49 (-)	()	()
単位(1件)当たりの事業費等	5.3百万円/1提携グループ	算出根拠	24年度の1提携グループ当たりの平均助成額 24年度の蚕糸・絹業提携システム確立対策事業費総額/全56グループのうち左記事業助成対象49グループ 260百万円÷49グループ≒5.3百万円					
保有割合 (基金事業に要する費用に対する保有基金額等の割合)	1.05	算出方法	保有割合=平成24年度年度末の基金残高÷事業終了(平成25年度末)までに必要となる補助・補てん額(平成25年度事業実施計画) 494百万円÷471百万円≒1.05					
所見/対応状況	本基金は、平成25年度に事業終了予定となっており、適切な基金運営に努めてまいりたい。							
補記								

農林水産省

平成24年度
0

蚕糸・絹業提携支援緊急対策基金

(財団法人)大日本蚕糸会

H24年度期首残高 841百万円

【収入】

運用利息収入 2

【支出】

提携システム構築コーディネート事業	6
提携システム構築バックアップ事業	46
純国産絹製品づくり条件整備事業	37
蚕糸・絹業提携システム確立対策事業	260

H24年度末基金残高 495百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)
(単位:百万円)

【助成】
37

A.純国産絹製品づくり
り条件整備事業

群馬県養蚕産地育成協議会ほか10団体

【助成】
260

B.蚕糸・絹業提携シ
ステム確立対策事
業

純国産シルクを守る
会ほか48個の提携
グループ

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かるよ
 うに記載)

A.群馬県養蚕産地育成協議会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
助成金	稚蚕飼育経費(労務費、飼料費、生産資材費等)	18.6			
計		18.6	計		0
B.純国産シルクを守る会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
助成金	提携グループの純国産絹製品づくり等に取り組む場合の初度的経費(商代、品質評価手数料)	88.3			
計		88.3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1	群馬県養蚕産地育成協議会	稚蚕の共同飼育	18.6
2	福島県優良繭生産推進協議会	〃	7.0
3	栃木県小山地区養蚕産地育成協議会	〃	3.4
4	栃木県北央地区養蚕産地育成協議会	〃	2.3
5	丸三ハシモト株式会社	機械・機材の整備	2.2
6	岩手南農業協同組合	稚蚕の共同飼育	1.5
7	宮城県養蚕産地育成協議会	〃	1.0
8	綾の小石丸の会	機械・機材の整備	0.5
9	西予市蚕糸業振興協議会	稚蚕の共同飼育	0.4
10	千葉県養蚕産地育成協議会	〃	0.3

B.

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1	純国産シルクを守る会	川上・川下が連携した国産繭の特徴・希少性を活かした純国産絹製品づくり	88.3
2	千總純国産絹製品販売・商品開発グループ	〃	42.4
3	碓氷製糸シルク工房の会	〃	22.3
4	松澤製糸所純国産シルクの会	〃	15.2
5	純日本の絹文化協会「松岡姫」グループ	〃	14.8
6	ふくしまみらいシルクの会	〃	13.8
7	平田グループ研究会	〃	5.1
8	純国産絹振興会“きぬなり”	〃	5.0
9	ふじやまシルクプロジェクト	〃	4.9
10	甲斐絹グループ	〃	3.8

C

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

D

	支出先	業務概要及び採択理由	支出額 (百万円)
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			